

所管課	都市づくり部都市創生課		
施策の大綱	まちづくりの目標(章)	施策分野(節)	施 策
	第4章 安全安心都市	10 市街地整備	02 良好な住環境を形成する
事業：地域活性化促進事業			整理番号 1471
目的	人口減少・少子高齢化・定住化促進に対応するため、3地区を特定し、効果的な土地利用を図る。 ・大阪外環状線沿道の上原・高向地区において、市域活性化やスプロール化の抑制を目的に、地域主体の計画的なまちづくりを促進する。 ・都市計画道路大阪河内長野線沿道となる小山田地区において、産業立地による雇用創出や堺臨海部へのアクセス向上を目指す。 ・三日月町駅東地区周辺の未利用公有地(市営三日月市住宅跡地)を有効に活用し、民間開発事業者による駅周辺地域を含めた土地利用を図る。		
目標	(上原・高向地区)地元協議会とともに具体的な事業化検討を行う民間企業(事業化検討パートナー)の募集、選定。 (小山田地区)土地造成に係る事業収支、事業手法、事業採算性の検討。 (三日月町駅東地区)市営三日月市住宅跡地を処分するため、宅地、道路、下水道敷等の境界確定、分筆、登記等の地積更生の実施。		

評価

平成27年度			平成26年度		
総合評価	A	評価理由 各地区において効果的な土地利用に向けた取組みを、多くの経験やノウハウを持つ業者に委託するなど効率的に、予定していたとおり実施できたため。	総合評価	A	評価理由 市域の活性化に向けた土地利用の促進に寄与する事業であるため。
妥当性	A		妥当性	A	
効率性	A		効率性	A	
有効性	A		有効性	A	
施策に対する貢献度	A	評価理由	施策に対する貢献度	A	
今後の方向性	(上原・高向地区)事業化検討パートナーとともに基本事業計画案を立案するなど、事業化に向けた具体的な取組みを進める。 (小山田地区)土地造成及びインフラ計画の検討を行うため、関係機関協議、課題の整理を行い、基本計画策定に向けた取組みを進める。 (三日月町駅東地区)境界未確定箇所の地権者協議を行いながら、駅周辺の土地利用計画案の公募を行い、民間開発事業者による駅周辺地域を含めた土地利用に向けた取組みを進める。				

事業費(決算額)・財源

		平成27年度	平成26年度	増 減
事業費(決算額) (千円)		9,903	4,506	5,397
財源内訳	一般財源 (千円)	9,903	4,506	5,397
	国府支出金 (千円)	0	0	0
	地方債 (千円)	0	0	0
	その他特定財源 (千円)	0	0	0

コスト情報・従事職員数

		平成27年度	平成26年度	増 減
総コスト (千円)		34,325	25,632	8,693
内訳	事業費(決算額) (千円)	9,903	4,506	5,397
	人件費 (千円)	24,422	21,126	3,296
	公債費 (千円)	0	0	0
参考	一人あたり (円)	315	232	83
	世帯あたり (円)	726	542	184
	職員数 (人)	3.15	2.75	0.40
	再任用職員数 (人)	0.00	0.00	0.00